

JECK Jica Expert Conference Kanagawa JICA帰国専門家連絡会かながわ

第8号

JECK2006年度下半期活動ニュース

JECK創立五周年記念シンポジウム開催

4回目になる「シンポジウム」が、今年1月13日、横浜JICAの会議室にて盛大に開かれました。

このシンポジウムも、次第に知られるようになり、今回は以前にも増して会員以外の方々の参加が目立ちました。

内容は次の通りですが、詳しくは本紙に掲載されてますのでご覧下さい。講師とテーマ

- 1.ガーナ全土を駆け巡った2年……石井 信行 会員
- 2.知られざるウガンダ紹介……安食 和博 会員
- 3.フィリピンにおける水道分野の技術移転……鈴木 千明 会員

例によって、終了後のパーティには、若い人達の参加もありましたのでいつもより活発な意見の交換の場となりました。

シンポジウム会場



国際協力業務展望・国際協力業務入門ガイド講座（第一回）開催

社団法人日本技術士会の神奈川支部である神奈川県技術士会は、いくつもの分科会を有するJECKの先輩団体ですが、その中の有志が集まってNPO（特定非営利活動法人）技術協力ネット（ENA; Engineering Network Association）があります。

JECKとの共通会員もあり、今回打ち合わせを重ねて、両団体の共同主催で国際協力の実践の業務に関心がある方々を対象にした「国際協力業務展望・国際協力業務入門ガイド講座」を企画しました。

満座の会場



企画内容にJICA横浜国際センターも関心を持っていた結果、後援として2月17日の土曜日5名の講師による講座を開催しました。

横浜市立大学の国際協力に興味のある団体「Peace News」の学生をはじめ多くの若者を中心にJICA横浜第一会議室が満席になるくらいに参加いただきました。JECKおよびENAでは、この成果に基づき今後定期的な開催を計画しています。

なお、当日講座後の懇親会ではJECK・ENAの昔若者と現役若者とはっきりとゼネレーションが分かれる2組の交流で盛り上がりました。



満座の交流会

ものづくり体験学習、小田原市立城南中学で実施

会報第7号で報告した、県の施策課科学技術班が主催する体験学習、「鎌倉の大仏さまのつくり方」の最終授業が2月13日、14日の両日、城南中学1年生67名を対象に実施されました。JECK会員菊池正夫氏が引き続きこれに参加協力しました。



ものづくり学習で指導中の菊池正夫氏

2月13日は重さ121トンの青銅の大仏さまの鋳型はどのようにして造られ、地金がどのようにして溶かされ、鋳型に流し込まれたかを数枚のスライドを使って説明し、併せて現代の代表的な鋳物についてその鋳造プロセスと用途を紹介、展示コーナーに草刈り機のエンジン部品などを展示して鋳物に親しみを持ってもらうように配慮しました。

2月14日はマイ・メダルづくりの体験学習で県の松谷主幹や日本鋳造協会の竹内純一氏等をゲストに迎え、JICAのOBの金子和夫氏のサポートを得て、生徒達と楽しい一日を過ごしました。

NPO法人ニュース（第三回）

NPO法人JECKアソシエイツ（JECKA）の推薦を受けて常務理事の谷保茂樹さんが、2006年11月12日に松沢成文神奈川県知事より委嘱を受けて、県の「NGOかながわ国際協力会議」第5期の委員に選任されました。

本会議の目的は、NGOの県政参加を推進し、県とNGOとの連携の強化を図るとともに、県内NGO間の連携の強化を進めることであり、NGOとしての立場から様々な事項について協議を行い、知事に提言を行うものとなっています。

すでに4期8年間の会議運営がなされ、本会議と同様に設置されています「外国籍県民かながわ会議」とともにいくつもの提言がなされ、国際地方自治体神奈川として特色ある施策に反映されています。

JECKの代表としての会議参加ですので、皆様の積極的なご意見お待ちしております。